SVCF 通信
2026.11.27 No.200

公益社団法人 福島原発行動隊
東京都千代田区神田淡路町1-21-7
静和ビル 1階A室 〒101-0063
Tel: 03-3255-5910 Fax: 03-3525-4811
Mail: svcf-admin@svcf.jp Web: http://svcf.jp

転居された方は事務局（svcf-admin@svcf.jp）まで転居先をお知らせください

第 163 回院内集会
なぜ、それでも原発を推進するのか～事故被害と推進者の論理～報告

11 月 19 日、公益社団法人 福島原発行動隊は、参議院議員会館議員第 3 会議室およびオンラインで標記の集会を開催しました。講師にはジャーナリストの青木美希氏をお招きしました。

会場参加者は 13 名、オンライン(Zoom 参加者は 10 名でした。

＜青木美希氏プロフィール＞

札幌市出身。ジャーナリスト、作家。1997年、北海タイムス入社。北海道新聞を経て2010年9月、全国紙入社。東日本大震災/原発事故を2011年3月11日の発生翌日から取材。

2023年11月20日『なぜ日本は原発を止められないのか？』(文春新書)、2026 年 2 月『それでも日本に原発は必要なのか？ 潰される再生可能エネルギー』(文春新書)を刊行。2023年から日本ペンクラブ言論表現委員会副委員長。

【講演要旨】



①福島第一原発事故の被害と廃炉の現状

放射能汚染が遠方にも及び、避難生活も今なお続いている現状を紹介。さらに、廃炉作業の難航や原発設備の老朽化、技術者の確保などを指摘し、長期運転の安全性と戦時の原発リスクにも疑問を投げかけた。

②除染土の再利用と住民の意思

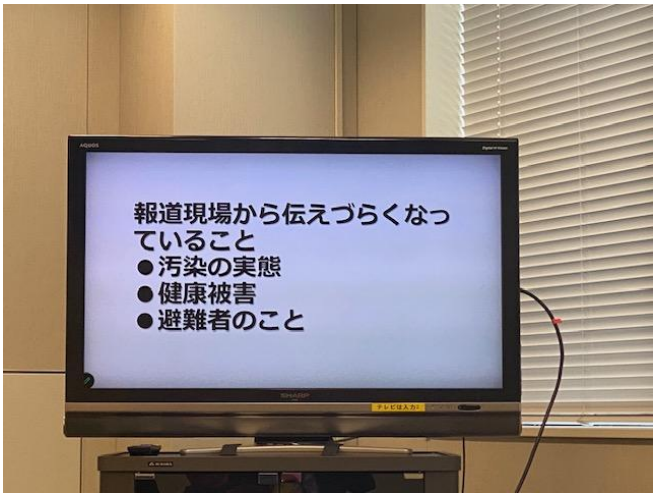
除染土を道路や堤防などに再利用する政策について、実証試験の妥当性や住民への説明不足を

指摘した。地元住民の間にも意見の違いがあり、政府が誰の声を聴いて政策を決めているのかが問われるとした。

③原発推進を支える費用負担と報道

政治家、電力会社、関連企業、研究者、メディアの経済的なつながりが、原発推進を支える構造になっていると指摘。事故後の費用を国民が負担する一方、電力会社が再稼働の利益を得る仕組みにも疑問を呈した。

また、自身の取材や出版をめぐる経験から、原発に批判的な報道が組織内で取り上げられにくい実態を語り、現場の声を伝え続ける報道の重要性を訴えた。





④再生可能エネルギーを普及させる政策

青木氏は、日本がかつて太陽電池の開発で世界をリードしながら、普及支援や産業育成を十分に続けなかったと指摘した。また、原発を優先する一方で太陽光や風力の発電を抑える制度にも疑問を呈した。

オーストラリア、ドイツ、ニュージーランドの事例を紹介し、太陽光・風力・地熱の普及には、国の支援や地域への利益還元、公的な調査が重要だと説明。電力需要の増加を原発で賄うのか、再生可能エネルギーで賄うのかは、政策の選択であると訴えた。

高橋正明元理事の 3 回忌法要

事務局長　安藤　博

元理事の高橋正明さんがなくなられてもう三年余になります。家森健さんから以下の呼びかけがあって、高橋さんの 3 回忌法要が、10 月 23 日東京/神田淡路町の行動隊事務所で行われました。

＜　　呼　　び　　か　　け　　＞

「23 年 7 月に亡くなった高橋正明 3 回忌法要を次通り執り行います。
3 回忌法要を期に皆様との旧交を温めたいと思います。…呼びかけ人　家森健」

■ 日時　10 月 23 日金曜日12時から 16 時まで。

■ 場所　行動隊淡路町事務所

■ 会費　1,000 円

(飲み物、おつまみ等持ち込み歓迎)

篠原浩一郎神職の祝詞奏上から始めていただきます…

6 団体同居の手狭な事務所での法要ではありましたが、神職となられた篠原浩一郎さんが紫の装束、烏帽子をまとって祭文(別紙)を詠み上げられ、簡素ながらも厳かにとりおこなれました。

行動隊発足当時を高橋さんとともにされた佐々木和子さんを含め、5 人が参加した法要でした。

高橋正明命三年祭　祭文

此れの過ぎ代に斎奉り座奉る高橋正明命の御霊の御前に斎(いつき)主(ぬし)香取(かとり)神社宮司(じんじゃみやつかさ)篠原浩一郎伊(い慎み(つつし)敬(いやま)ひも曰(まおさく　阿波礼汝(いまし)命(みこと)は令和五年七月二五日に玉の緒の御命絶へ七十八歳を一代(ひとよ)の涯(かぎり)と幽(かくり)世に身罷り給ひき　いとも悲しきことの極みにして御家族(うからやから)友(とも)輩(がら)は悲しみ惑ひ慕ひ奉りつつ在り経随に過ぎ行く年月の揺蕩ふ間も無く早くも今年は三年の御祭仕え奉る事とはなりぬ　今更に在日(ありしひ)の汝命(いましみこと)の御面影(みおもかげ)の片端を偲び奉れば東京外国語大学の教授、副学長を勤め羅甸亜米利加現代史の研究に貢献し、さらに平成二十三年三月十一日福島第一原子力発電所の未曾有の大事故対策に挺身せんと結成されたる福島原発行動隊に率先参加し理事として多大なる貢献をなし給ふ

彼今日の生日の足日に福島原発行動隊の輩打ち集ひて在りし日の時々を斯爾斯久に思い出で参らせつつ御霊を慰め奉らくと天前に御饌神酒を始めて種々の味物を献奉りて幽世の御幸を乞祈奉る状を平らけく安らけく聞食して天翔り座しては世界の平和を国翔り座しては人々の幸せを夜の守り日の守りに守り給ひ幸給ひ現世の人人の子孫の八十続に至るまで五十槻八桑枝の如く立ち栄え行かむ事を幽世ながら見遥かし座せと慎み敬ひて白す



【行動隊 12 月スケジュール】

● 第 164 回院内集会

・開催日時：12 月 10 日㈭16：00

・会場：参議院議員会館（アクセスは右地図参照）

3 階議員第 3 会議室およびオンライン

・講師:牧山ひろえ参議院議員

「福島原発行動隊と私（仮題）」



● 通信第 201 号発行： 12 月 16 日㈬予定

● 連絡会議：

・（以下の金曜日 10:30、淡路町事務所（アクセスは下地図参照）およびオンライン）：12 月 4・11・18・25 日、1 月 8 日

● 淡路町事務所閉鎖：

12 月 26 日㈯～1 月 4 日㈪

